

新市原市次世代育成支援行動計画（前期計画）の 実績及び評価（平成30年度）

令和元年 11 月 22 日
子ども未来部 子ども福祉課

1. 計画の概要

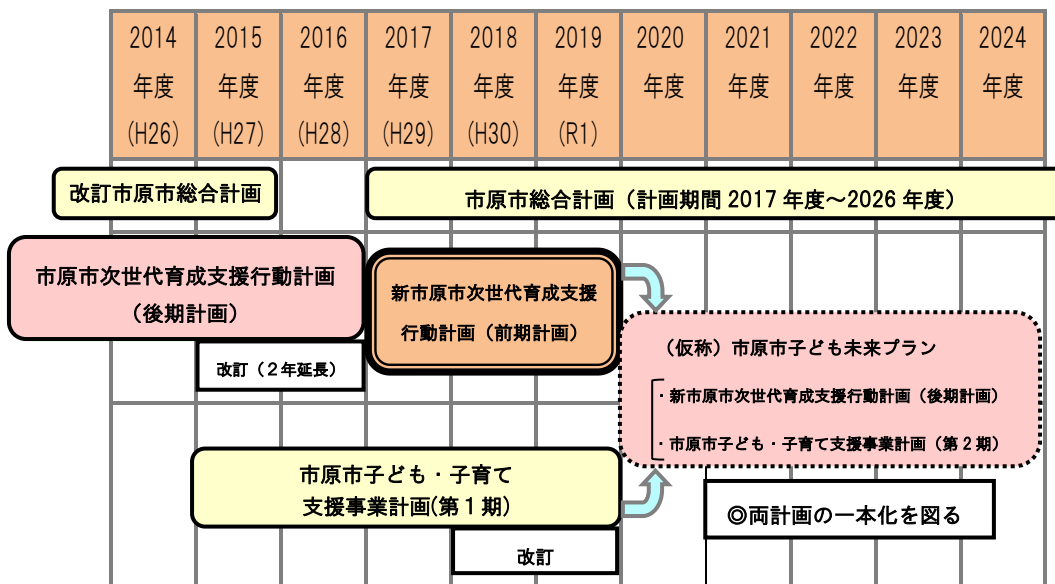
(1) 計画の位置づけ

本計画は、次世代育成支援対策推進法（以下「推進法」という。）第8条第1項の規定に基づく計画であるとともに、笑顔が広がるいちはらっこの子育て支援条例第9条第1項の規定にある、「子どもに関する施策を総合的かつ効果的に実施するための計画」に当たります。

(2) 計画策定の経緯

これまで本市では、推進法に基づき、前期計画（平成17年度から平成21年度）を策定し、平成22年3月にその見直しを行い、後期計画（平成22年度から平成26年度）を策定しました。さらに本計画策定までの間、計画期間を2年間延長した後期計画【改訂版】（平成27年度から平成28年度）を策定しました。

本計画は、2017（平成29）年度から2019（令和元）年度を計画期間として策定し、国、千葉県それぞれが策定した関連の計画等や、市が策定した各種計画等との整合、連携を図りました。



(3) 施策の体系

基本理念を「いちはらっこを優しく育む、みんなの笑顔が輝くまち」と定め、その実現に向け「Ⅰ 仕事と子育てが両立しやすい、女性が活躍できるまち」、「Ⅱ 誇りと愛着を育む地域総ぐるみの子育て支援ができるまち」、「Ⅲ 妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援策等による安心して子どもを産み育てることのできるまち」、「Ⅳ 子どもたちが夢をもって学び、

自分らしく成長できるまち、「V すべての子どもが健やかに育つまち」の5つの基本目標を定め、次代を担う子どもたちが健やかに成長できる環境や安心して子育てができる環境づくりを総合的に推進することとしています。

基本理念：いちはらっこを優しく育む、みんなの笑顔が輝くまち

基本目標

I
仕事と子育てが両立しやすい、女性が活躍できるまち

II
誇りと愛着を育む地域総ぐるみの子育て支援ができるまち

III
妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援等による安心して子どもを産み育てることのできるまち

IV
子どもたちが夢をもって学び、自分らしく成長できるまち

V
すべての子どもが健やかに育つまち

施策・細施

- 1 ワーク・ライフ・バランスの実現
- 2 待機児童解消に向けた取り組みの推進
 - (1) 保育所待機児童への対策
 - (2) 放課後児童クラブの整備
- 3 多様なニーズに対する保育の充実

- 1 子育てを支える地域社会の形成
- 2 地域における子育て支援の充実
 - (1) 地域における子育てサービスの実施
 - (2) 相談・交流の場の構築と充実
 - (3) 子育てに関する情報の提供
- 3 児童の健全育成

- 1 子育てネウボラによる切れ目のない支援
- 2 親子の健康の確保及び増進
 - (1) 親子の健康づくりの支援
 - (2) 食育の推進
 - (3) 小児医療体制の充実
- 3 育児・教育にかかる経済的負担の軽減

- 4 子育てにやさしい生活環境の整備
 - (1) 防犯等による安全・安心の確保
 - (2) 交通安全の推進
 - (3) 子育てにやさしいまちづくり

- 1 質の高い幼児教育の提供
- 2 確かな学力・豊かな心を育む教育環境の整備
 - (1) 確かな学力の養成
 - (2) いじめや非行等の未然防止と早期対応
 - (3) 思い切り学べる教育環境づくり
- 3 生涯学習機会の充実
 - (1) 読書教育の推進
 - (2) 地域におけるスポーツ環境の充実
 - (3) 文化芸術活動の推進

- 1 ひとり親家庭等への支援の充実
- 2 児童虐待防止対策の充実
- 3 貧困の連鎖防止に向けた施策の充実
- 4 障がい児支援の充実

2. 事業実施及び指標の状況（実績）

本計画の平成30年度の実績について、事業の実施状況と指標の状況から把握しました。

（1）事業の実施状況

下記のとおり平成30年度は、掲載事業全146事業を実施しました。

基本目標	事業数	実施数	未実施数
I	21	21	0
II	31	31	0
III	33	33	0
IV	36	36	0
V	25	25	0
計	146	146	0

※実施には、「調整・準備・課題検討等」を含みます。

各事業の詳細は、「資料1-2 実績等一覧表」のとおりです。

（2）指標の状況

本計画及び基本目標・施策の進捗状況を把握するため、成果指標（アウトカム指標）及び活動指標（アウトプット指標）の2つの指標を設定しています。

各指標には、計画策定時の基準値と、計画の最終年度（令和元年度）における目標値が併せて設定されており、実績値と比較することにより評価します。

平成30年度の指標状況は、「資料1-3 指標の状況について」のとおりです。

指標	説明
成果指標 （アウトカム指標）	施策・事業の実施により発生する成果を表す指標 ➡アンケート調査結果や統計値など
活動指標 （アウトプット指標）	市の取り組みや市民（子ども等）の行動を表す指標 ➡施設箇所数やイベント参加者数など

3. 実績に対する評価

平成 30 年度は、掲載全事業について事業を実施していますが、アウトカム指標については、半分程度の指標において、基準値を下回る結果となっています。

指標のうち多数を占めるアンケート調査において、調査ごとに結果のばらつきが生じる可能性があることや、本計画における施策の効果が表れるまでの時間差といった要因も考えられますが、早期にアウトカム指標の改善が図られるよう、これまで以上に計画的かつ着実な事業の推進が必要となっています。

なお、参考として、基準値に満たない指標でも、前年度比で改善している指標も多く、アウトプット指標については、基準値との比較で向上しているものが多くなっていることから、本計画による施策の効果が徐々に表れてきているとも考えられます。

しかしながら、代表的な指標である保育所等利用待機児童数については、前年度から増加しており、待機児童の解消には至っていません。

今後も、引き続き本計画に基づく着実な事業の推進に努めるとともに、令和 2 年度以降の次期計画として、本年度においては、次世代育成支援行動計画と子ども・子育て支援事業計画を一本化した、新たな計画「(仮称)市原市子ども未来プラン」の策定に取り組むことで、地域社会全体で優しく子供や子育て家庭を支え、子育ての喜びにより、子どもの笑顔や大人の笑顔が満ちあふれるまちの実現を目指します。